

ダイハツ工業とは

私たちは常にお客様に寄り添い、本当に求められるものをかたちにしてきました。

使いやすさを徹底して追求し、環境にも経済性にも配慮した「負担の少ない廉価なモノづくり」は、今も変わらず受け継がれています。

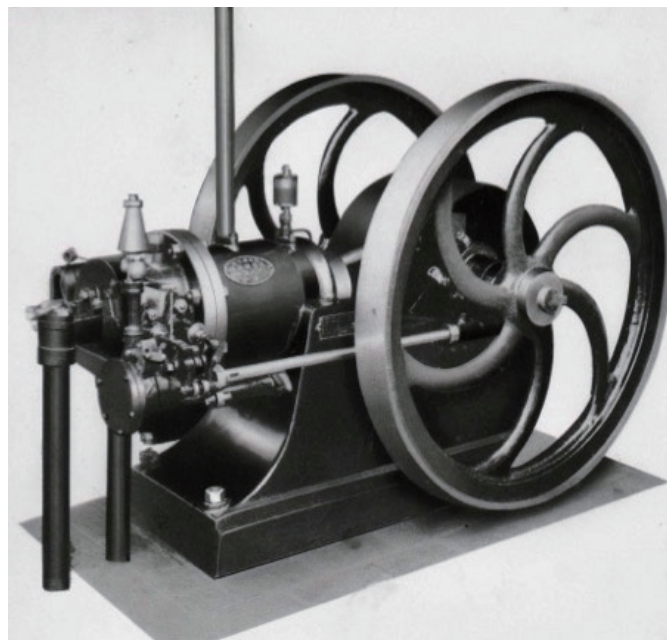
この根底にあるのが、「敷居を下げ、裾野を広げる」という私たちの考え方です。

地方にお住まいの皆様や女性、高齢者、エントリーユーザー、新興国の方々など、より多くのお客様に安心して笑顔で使っていただけるよう、軽自動車や小型車の開発・製造に取り組んでいます。

それは、多くのお客様の暮らしを支えることであり、国内・新興国の産業への貢献にもつながっています。

- 5 企業理念
- 6 ダイハツ工業の歩み
- 7 魅力・強み
- 8 At a Glance
- 9 国内事業概要
- 10 海外事業概要

SECTION



使命 Mission

それは、1907年の創業以来、ダイハツが大切にしてきた変わらぬ想いです。

これからもダイハツは、それぞれの地域、お客様一人ひとりの生活に、
真摯に向き合い、自分らしく軽やかなライフスタイルを実現できる
製品・サービスをお届けしてまいります。

心得 Value

ブランドメッセージ



ダイハツ工業とは

- 5 企業理念
- 6 ダイハツ工業の歩み
- 7 魅力・強み
- 8 At a Glance
- 9 国内事業概要
- 10 海外事業概要

ダイハツ工業とは

ダイハツ工業のストーリー

ダイハツ工業の
サステナビリティ

環境

| 社会

コーポレートガバナンス

ダイハツ工業の歩み ～時代とともに進化してきたスモールカーづくり～

1900年代～

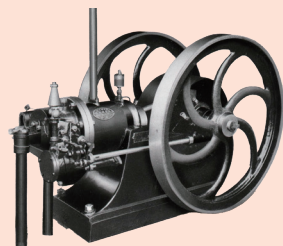
創業から、暮らしを支える
モビリティへ

国産エンジン開発から三輪車時代へ

1907年

発動機製造(株)創立

「国産の内燃機関を開発する」という
志のもとに創立し、国産第1号の発動
機製造を開始。



1957年

軽三輪自動車「ミゼット」

「小回りが利いて、取り扱いに便利、か
つ経済的」という価値で、戦後の三輪
自動車市場をリード。



1970年代～

軽・小型車の進化と
海外展開

スモールカーの価値を広げる

1977年

初代「シャレード」

キャッチフレーズは「5平米カー」！
小さなボディでも広い室内空間を目指
した意欲作。



2002年

軽オープンスポーツカー「コペン」

「誰もが気軽に楽しめる本格的オープン
スポーツカー」を掲げ、新たな軽の魅
力を提案。



2010年代～

グループ連携の深化と
競争力強化

DNGAでスモールカーを次のステージへ

2011年

軽乗用車「ミラ イース」

「低燃費」「低価格」「省資源」を追求
した、“第3のエコカー”。



2019年

「DNGA」第1弾新型「タント」

DNGA（ダイハツ ニューグローバル
アーキテクチャー）採用による高い基
本性能と、スマートアシストで全方位の
安全・安心をお客様のお手元へ。



2020年代～

電動化・カーボンニュートラル
に向けた新たな挑戦

BEVと次世代モビリティをかたちに

2026年

初の量産BEVバン
「e-ハイゼット カーゴ」

働くクルマの魅力はそのままに、新開発の
BEVシステムを搭載。



次世代モビリティ「ミゼットX」

「みんなの身近な移動」を再発明。次世代
の小さなモビリティを提案するコンセプト
BEV。



SECTION 1

ダイハツ工業とは

- 5 企業理念
- 6 ダイハツ工業の歩み
- 7 魅力・強み
- 8 At a Glance
- 9 国内事業概要
- 10 海外事業概要

トップメッセージ

SECTION 1

ダイハツ工業とは

SECTION 2

ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3

ダイハツ工業の サステナビリティ

SECTION 4

環境

SECTION 5

社会

SECTION 6

コーポレートガバナンス



01



お客様に寄り添う クルマづくり

市場の声に丁寧に耳を傾け、日常や地域で求められる安全・安心なスモールカーを、使いやすさと親しみやすさを大切に開発・提供しています。

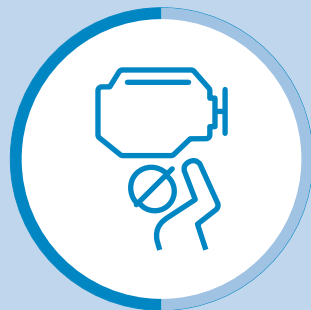
02



「お客様に ちょうど良い」を カタチにする 現場力

実使用シーンを見極めて良品を追求し、知恵と工夫による合理化で手にとりやすい価格を実現しています。こうしたモノづくりを通じて、社会の裾野を支え・広げていきます。

03



小さなクルマの ために磨き続けた 技術力

制約の大きいスモールカーだからこそ、SSC（シンプル・スリム・コンパクト）と「先進技術をみんなのものに」という思想のもと、知恵と工夫を重ね、ダイハツならではの開発・生産技術を培ってきました。

04



トヨタグループの 一員としての 事業推進

トヨタグループの一員としてトヨタの経営資本を活用し、共通戦略のもとでスモールカー領域はダイハツが主体となって、競争力のある商品を国内外に展開しています。

05



挑戦を後押しする 組織力

若手社員のアイデアやチャレンジ精神を大切にする風土のもと、一人ひとりが幅広い経験を積みながら、部署の垣根を越えてワンチームで業務に取り組んでいます。

SECTION 1

ダイハツ工業とは

- 5 企業理念
- 6 ダイハツ工業の歩み
- 7 魅力・強み
- 8 At a Glance
- 9 国内事業概要
- 10 海外事業概要

トップメッセージ

SECTION 1 ダイハツ工業とは

SECTION 2 ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3 ダイハツ工業の サステナビリティ

SECTION 4 環境

SECTION 5 社会

SECTION 6 コーポレートガバナンス



創立
1907年



資本金
284億円



生産台数^{※1}



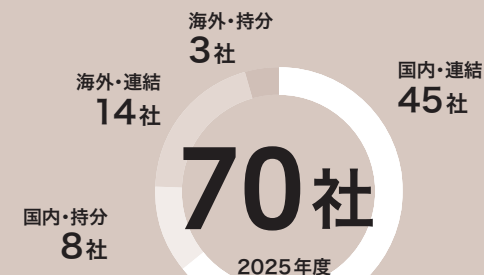
販売台数



従業員数



関連会社数



※1 すべてのダイハツ開発車の世界生産台数は約200万台

※2 OEM車・受託生産車台数を含む

※3 登録・届出台数ベース

※4 小売台数ベース

※5 中国、タイの事業拠点含む

※6 就業人数ベース

SECTION 1

ダイハツ工業とは

- 5 企業理念
- 6 ダイハツ工業の歩み
- 7 魅力・強み
- 8 At a Glance
- 9 国内事業概要
- 10 海外事業概要

トップメッセージ

SECTION 1
ダイハツ工業とは

SECTION 2
ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3
ダイハツ工業の
サステナビリティ

SECTION 4
環境

SECTION 5
社会

SECTION 6
コーポレートガバナンス



国内事業概要

「ライフライン」としての軽自動車へのこだわりと、 軽を基点とした小型車づくり

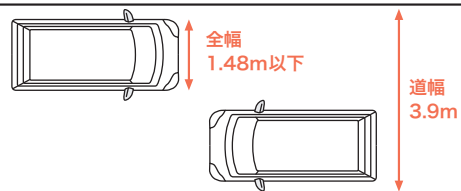
公共交通機関の利用が難しい地域では、
軽自動車は暮らしに欠かせない移動手段

買い物、通勤、仕事、送迎など、
日常のあらゆる場面を支える存在

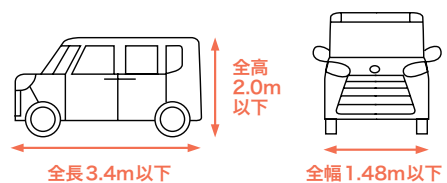
「あると便利」ではなく、
「ないと不便」と感じられるライフライン

POINT

日本の道路の85%※1は
道幅平均3.9mの市町村道

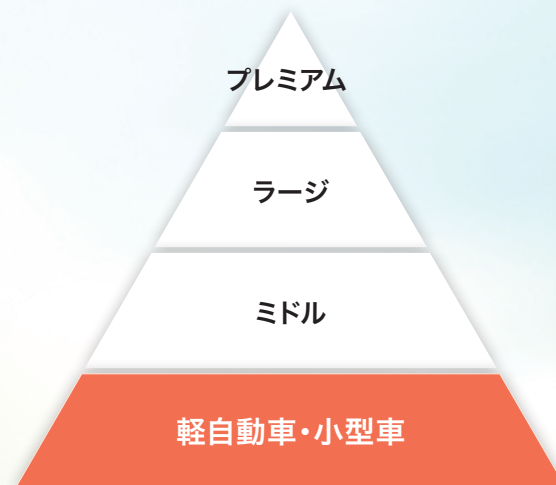


軽自動車規格 排気量660cc以下



※1 出典：国土交通省「道路統計年報2023」（2022年
3月31日時点）

スモールカー領域で事業を展開



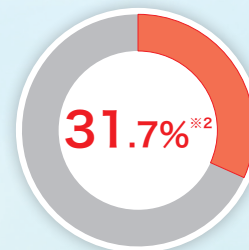
環境にも優しい

低燃費・低CO₂

製造・廃棄による環境負荷低減

都市空間・道路への環境負荷低減

国内軽自動車販売シェア 2025年度



※2 出所：一般社団法人全国軽自動車協
会連合会のデータをもとに当社調べ

国内生産拠点



軽自動車



ミライース

小型車



ロッキー

SECTION 1

ダイハツ工業とは

- 5 企業理念
- 6 ダイハツ工業の歩み
- 7 魅力・強み
- 8 At a Glance
- 9 国内事業概要
- 10 海外事業概要

トップメッセージ

SECTION 1 ダイハツ工業とは

SECTION 2 ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3 ダイハツ工業の サステナビリティ

SECTION 4 環境

SECTION 5 社会

SECTION 6 コーポレートガバナンス

海外事業概要

お客様に寄り添うモノづくりを海外へ

GRI 2-1, 2-6

中近東

アジア

オセアニア

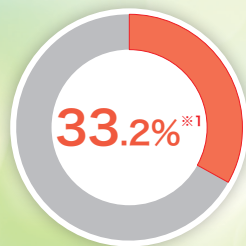
中南米

日本で培ったスモールカーの技術を新興国に展開し、クルマの普及を支える

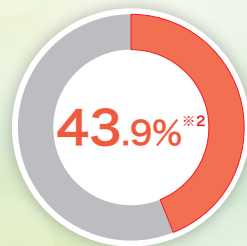
現地化と人材育成を通じて、現地自動車産業の発展に貢献

トヨタグループの新興国向け小型車事業を担い、東南アジアを中心に約80の国・地域へ展開

インドネシア
生産台数シェア
2025年



マレーシア
販売台数シェア
2025年



※1 出所：インドネシアGAIKINDOデータをもとに当社調べ
※2 出所：マレーシアMAA (MALAYSIAN AUTOMOTIVE ASSOCIATION)データをもとに当社調べ



インドネシア



〈インドネシア生産拠点〉

- ・ PT Astra Daihatsu Motor (ADM)^{※5}
- ・ PT Daihatsu Drivetrain Manufacturing Indonesia (DDMI)^{※6}

累計生産
900万台
達成

生産台数^{※3}
シェア
15年連続
1位

販売台数シェア
17年連続
2位



マレーシア



〈マレーシア生産拠点〉

- ・ Perodua Manufacturing Sdn. Bhd. (PMSB)^{※5}
- ・ Perodua Global Manufacturing Sdn. Bhd. (PGMSB)^{※5}
- ・ Perodua Engine Manufacturing Sdn. Bhd. (PEMSB)^{※6}
- ・ Daihatsu Perodua Engine Manufacturing Sdn. Bhd. (DPEM)^{※6}

販売台数^{※4}
シェア
20年連続
1位

※3 OEM車台数を含む ※4 小売台数ベース、プロドゥア車の販売台数を含む ※5 自動車の製造 ※6 自動車部品の製造

SECTION 1

ダイハツ工業とは

- 5 企業理念
- 6 ダイハツ工業の歩み
- 7 魅力・強み
- 8 At a Glance
- 9 国内事業概要
- 10 海外事業概要

トップメッセージ

SECTION 1 ダイハツ工業とは

SECTION 2 ダイハツ工業のストーリー

SECTION 3 ダイハツ工業の サステナビリティ

SECTION 4 環境

SECTION 5 社会

SECTION 6 コーポレートガバナンス



10

